

マンションリフォームで馬淵建設が新会社設立

「エムゼックリフォーム」

創る100年から活かす100年へー馬淵建設を設立した。

(横浜市南区、馬淵圭包社長)は、分譲マンションの室内のリフォームをターゲットとした新会社



内バリアフリー化などを進め、「建設市場の減少により、これまでの受注方法では会社の成長はない。拡大するストック市場にスポットを当て、

本社のリニューアル部門とリフォームを柱に事業展開を図る(馬淵社長)。

本社にあるリニューアル統括部は、マンションの大規模改修など供用部を対象としているが、新会社は室内の専有部をターゲットとし、双方の営業展開の中で相乗効果を狙う。

新会社の野澤光司社長は、「写真」は、「馬淵建設」というブランドの下、県内を対象に広域的に展開するとともに、リニューアル統括部とは異なる小回りの利く仕事を手掛ける。営業エリアを東京、千葉、埼玉の1都3県に広げ、5年後には年間12億円の売り上げを目指すといい。

当面は隔月に発行する「Re(あーるい)」50万部をポストインにより配布するとともに、ホームページでPRする。

・エムゼックリフォーム
8月10日設立、資本金5000万円。所在地は横浜市南区花之木町2ノ26。電話045(341)0826



馬淵社長(左)と野澤社長(右)

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設が新会社設立

エムゼックリフォーム

県内分譲マンションのリフォームに進出

居住系の建築物を建設してきた。特に、県内では「マンション」と言われるほどの「創る100年から活かす100年へ」をテーマに、同社の100%子会社を設立した。

今回は、8兆円市場とされるリフォーム分野をターゲットとし、馬淵建設のノウハウを生かしながら「今あるものを大切に」する100年という思いを持ち、「創る100年から活かす100年へ」をテーマに、同社の100%子会社を設立した。

馬淵社長は「技術とノウハウは顧客の力になれる。県内の広範囲の需要に対し、地域のリフォーム会社とは一味違うニーズに応えたい。ストック市場に進出し、グループ

企業の一柱の一つに育てたい」とコメント。野澤社長は「リアクションのあった相手と良い関係を築き、親会社のリニューアルと新会社のリフォームの相乗効果を期待している。フレキシブルに事業展開し、5年後には、県内だけでなく首都圏で年間12億円の売り上げを目指す」と抱負を語った。

所在地は横浜市南区花之木町2ノ26。資本金は5000万円。営業種目はリフォーム工事一式。役員(敬称略)は、代表取締役社長野澤光司、取締役山崎由紀男、松田尚、角井英明、野澤邦男、監査役石井菊次郎。



野澤社長(右)と馬淵社長

「エムゼックリフォーム」設立

横浜市南区の建設会社、馬淵建設(馬淵圭包社長)は、分譲マンションのリフォーム事業に参入する。新に100%子会社を設立した。

野澤光司社長は、11月10日設立した。資本金は5000万円。営業種目は、リフォーム工事一式。役員(敬称略)は、代表取締役社長野澤光司、取締役山崎由紀男、松田尚、角井英明、野澤邦男、監査役石井菊次郎。

5年後に首都圏へ事業拡大

野澤社長は「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。



馬淵社長(左)と野澤社長(右)

エムゼックリフォーム設立

来月から営業活動開始

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設

マンションリフォームに本格参入

馬淵建設(横浜市南区、馬淵圭包社長)は、分譲マンションの居住者ターゲットとしたリフォーム事業に本格参入する。8月にリフォーム専門の子会社「エムゼックリフォーム」(野澤光司社長)を設立。11月初旬からポストインなどの営業活動をスタートする。公共投資の冷え込みを背景に、マンションストック市場に注目。当面は神奈川県内を中心に営業展開し、将来的には東京、埼玉、千葉と首都圏に事業エリアを拡大したい考え。5年後には年間売り上げ12億円を目指すとしている。

エムゼックリフォームは、バリアフリー化などを手がける。馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。

馬淵建設は、1909年(明治42年)の創業以来、建設業を中心に「世のため、人のため」をモットーに「信頼と技術」を企業理念とし、多くの事業を展開している。